

特許

米国特許法の改正や欧州統一特許裁判所制度の導入など、特許を巡る環境は日々変化しております。弊所の特許部門では、権利の失効からパテントトロールによる問題まで、あらゆる状況においてクライアントの権利を全力で保護しております。

「特許訴訟で起こりうるあらゆる状況を知り尽くしている」(IAM Patent 1000, 2015)として評価されている弊所の特許部門では、南北アメリカ、欧州、アジアの特許訴訟において豊富な経験や知識をもつ弁護士を多数擁しております。

弊所は、単にクライアントの権利を守るだけでなく、権利を生み出し、それを拡大するためのサポートも提供しております。特許出願チームやライセンスの専門家など、あらゆるプロフェッショナルな人材がアイデアの着想から世界的な権利の展開に至るまで常にクライアントと共に歩みを進めております。ライフサイエンス、テレコム、自動車、エネルギーなど従来型の業界だけでなく、これらの業界の集合体である新世代の業界のクライアントにも、弊所のチームにおいて包括的なサービスを提供しております。

代表的な案件

現地国や世界の複数法域での特許紛争におい

主な連絡先

フレデリック・チェン博士、
東京
今井 浩人、
東京

てBlackBerry社、Dell社、Google社、HTC社、KPN社、Motorola社、Oracle社、ZTE社など世界最大手テクノロジー企業の代理人を担当

携帯電話機、Google Talk、Google Hangouts、YouTubeに関連してStraight Path IP Group社により提起された米ITC（国際貿易委員会）での訴訟においてGoogle社、LG社、株式会社東芝の代理人を担当

標準必須特許を巡る反トラスト法（FRAND）に基づく抗弁の取り扱いについて欧州連合司法裁判所が重大な判決を下した「Huawei vs. ZTE」訴訟において、ZTE社の代理人を担当

抗HIV薬raltegravirの特許を巡るシオノギ製薬との特許紛争においてMSD社の代理人を担当

ブロックバスター薬に関する複数のハッチワックスマン訴訟において大手日系新薬メーカーに助言を提供

Leachman Cattle of Colorado社の2件の特許に対する異議手続きにおいて同社の代理人を担当。同案件では、PTAB（USTPO特許審判部）により米国発明法（AIA）施行後初の特許付与後レビューの審決が下された

米国、中国での複数の訴訟や米国の当事者系レビューにおいてダイムラー/メルセデスベンツ社の代理人を担当

ノキア社のHERE地図アプリ事業の28億ポンドでの買収について、Audi社、BMW社、ダイムラー社から成るコンソーシアムの代理人を担当

Kodak Alaris社のフォトキオスク、ドキュメントスキャナー、感熱式プリンター、デジタルフォトフレーム事業に係る特許ポートフォリオの管理や、同社ポートフォリオの利用や防衛においてサポートを提供

受賞歴

- Japan IP Foreign Firm of the Year, *Managing Intellectual Property Awards*, 2016, 2018 & 2019

直近の講演・出版物等

日本企業を取り巻くAPACライフサイエンス産業において、ゼネラルカウンセルが注目する重要課題についてパネリストが議論

受賞・ランキング

フレデリック・チェン博士（東京事務所代表パートナー）が「Lexology 2022 Client Choice Award for Life Sciences in Japan」を受賞

受賞・ランキング

フレデリック・チェン博士（東京事務所代表パートナー）が「Lexology 2021 Client Choice Award for IP — Patents in Japan」を受賞

ウェビナー

WTOの提案する知的財産権の放棄について: コロナ時代とその先の社会において日本企業へ及ぼしうる影響とリスク

受賞・ランキング

当事務所パートナー3名がManaging Intellectual Property IP STARS誌において「Top 250 Women in IP」に選出

Insights and Analysis

U.S. + Germany patent update – January 2020 (日本語)